

第113回定例会	
定例会会期日程	2
令和3年度補正予算議案ほか	3
一般質問	
今 勝吉議員	9
大高恒藏議員	12
岩谷 司議員	17
大川清光議員	20
議会活動	22

## 第66号

令和3年8月13日発行



## 楽しかった 縁日ごっこ♪

かき氷屋さんにお面屋さん、くじ引き、ヨーヨー釣り、金魚すくいなど縁日の雰囲気を楽しみました！（銀杏保育園）

# 一般会計補正予算 1億345万7千円を追加し 総額 65億8145万7千円

- ◆ 補正予算議案**
- 【歳入の主なもの】**  
(万円未満切り捨て)
- ◆ 議案第1号  
令和3年度一般会計補正予算  
既定の予算に1億345万7千円を増額し、総額65億8145万7千円とした。
  - 国庫支出金  
・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業負担金 1235万円
  - 低所得子育て世帯生活支援金給付事業交付金 635万円
  - 新型コロナウイルス地方創生臨時交付金 8607万円
  - 繰入金  
・ 公共施設等総合管理基金繰入金 △960万円
  - ・ 森林環境譲与税基金繰入金 596万円
- 【歳出の主なもの】**  
(万円未満切り捨て)
- 総務費  
・ 新型コロナウイルス対応雇用安定支援事業費 1530万円
  - ・ 新型コロナウイルスの影響で離職した方々の就業を後押しするため、町内企業が離職者を採用した際の人員費の一部を支援するため 200万円
  - 民生費  
・ 新生児特別給付金給付事業費 200万円
  - ・ 第1子から10万円給付する事業を令和3年度から先行開始するため 200万円
  - 低所得子育て世帯生活支援金給付事業費 200万円
  - 衛生費  
・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1235万円
  - ・ 新型コロナウイルスワクチン接種を加速するため 400万円
  - 商工費  
・ 飲食店感染防止対策事業費 400万円

**◆ 議案第2号  
令和3年度特別会計補正予算**

会 計	補正額	総 額
国民健康保険事業 特別会計直診勘定	234万円	3億1614万円

- 観光産業振興費 1730万円  
町独自の深浦宿泊キャンペーン等を実施するため
- 教育費  
・ 各小中学校管理費 791万円
- ・ コロナ感染予防のためのネットワーク整備、授業用大型モニターを整備するため
- 飲食店がコロナ感染防止を図るために要する経費を補助するため

**◆ 条例に関する議案**

- ◆ 議案第3号  
基金条例の一部を改正する条例**
- 白神岳避難小屋の愛称を付与する命名権料として得た収入を当該施設の維持管理費の財源に充てるための基金を追加する。
- 基金の名称：白神岳避難小屋ネーミングライツ基金



▲ 新型コロナウイルスワクチン接種の様子(町民体育館)

# 深浦町議会 第113回定例会



第113回定例会は、6月4日から8日までの5日間の会期で開かれました。町長から補正予算などの議案11件、諮問1件、報告4件が提出され、採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

また、議員発議が2件提出され、1件が可決、もう1件は否決しました。そのほか、陳情が1件提出され、審査が必要なことから、委員会付託となりました。

一般質問では、4人の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策や洋上風力発電、防災対策など町政全般にわたる議論が繰り広げられました。



▲ 提案理由の説明をする吉田町長

**6/4 (金)** ・ 全議案一括上程  
・ 提案理由の説明

**6/5 (土) ~ 6/6 (日)** ・ 休会

**6/7 (月)** ・ 一般質問



今 勝吉      大高 恒藏      岩谷 司      大川 清光

**6/8 (火)** ・ 議案審議、採決



▲広域農道との接続部分を改良

◆**報告第1号**  
令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件  
総額2億7162万円を令和3年度に繰越したため、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき報告があった。

報告



さくらい こうじゅん 櫻井 孝順(新任) (風合瀬)

◆**諮問第1号**  
人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件  
令和3年9月30日をもって任期満了となるため、候補者として法務大臣に推薦する。

諮問

◆**報告第4号**  
専決処分した事項の報告の件  
(青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について)

◆**報告第3号**  
専決処分した事項の報告の件  
(青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について)

◆**報告第2号**  
令和2年度一般会計事故繰越繰越計算書報告の件  
合併15周年記念誌「深浦のあゆみ」の校正作業に不測の日数を要したことなどにより、年度内完成が困難となり60万8500円を令和3年度に事故繰越したため、地方自治法施行令第150条第3項の規定に基づき報告があった。

報告第2号

# 新体制 後期メンバー でスタート

役職	氏名
委員長	大高 恒藏
副委員長	岩根 環
委員	工藤 博利
委員	亀川 肇
委員	小野 信吾
委員	今 勝吉

役職	氏名
委員長	岩谷 司
副委員長	大川 清光
委員	小野 文之
委員	藤田 一則
委員	堀内 榮治
委員	斉藤 登

- 総務文教常任委員会
  - 総務課
  - 財政課
  - 総合戦略課
  - 税務課
  - 町民課
  - 福祉課
  - 健康推進課
  - 会計課
  - 診療所
  - 議会
  - 教育委員会
  - 監査委員
  - 選挙管理委員会

- 産業建設常任委員会
  - 農林水産課
  - 観光課
  - 建設課
  - 水道課
  - 農業委員会

各常任委員会では左記の各課等を担当します

総務文教常任委員会・産業建設常任委員会の任期満了（2年）に伴う委員選任と正副委員長の互選結果です。

## 議会常任委員会委員の選任及び各委員長、副委員長互選の結果

◆**議案第6号**  
水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例  
当町の水道事業の規模変更



▲用途廃止する行合崎野営場の炊事場兼更衣施設

◆**議案第8号**  
風待ち館設置条例の一部を改正する条例  
指定管理委託するに当たり、開館時間及び休館日を改正する。（令和3年7月1日から施行）

◆**議案第5号**  
介護保険条例の一部を改正する条例  
前議案と同様に、保険料の減免特例の期限を延長するため、その所要の改正をする。



▲宗教法人円覚寺が指定管理者となった「風待ち館」



▲深浦小学校

◆**議案第4号**  
国民健康保険条例の一部を改正する条例  
新型「コナウイルス感染症」の影響により収入が著しく減少した被保険者等に係る保険料の減免特例の期限を延長するため、その所要の改正をする。

◆**議案第7号**  
多目的広場条例の一部を改正する条例  
【改正内容】  
①給水人口  
「9180人」を「7117人」へ変更  
②1日最大給水量  
「4800立方メートル」を「3758立方メートル」へ変更

◆**議案第9号**  
公の施設の指定管理者の指定について  
（風待ち館）  
①指定管理者となる団体の名称  
宗教法人 円覚寺  
②指定管理者が管理する期間  
令和3年7月1日から令和6年3月31日まで

◆**議案第10号**  
工事の請負契約の件  
工事名 町教第1号  
深浦小学校大規模改修工事  
請負代金  
2億6950万円  
契約の相手方  
深浦町大字岩崎字松原193番地2  
株式会社 ホリエイ  
代表取締役 堀内 精二

◆**議案第11号**  
工事の請負契約の件  
工事名 道整第1号  
町道北金ヶ沢28号線道路改良3期工事  
請負代金 5830万円  
契約の相手方  
深浦町大字北金ヶ沢字塩見形2番地10  
株式会社 脇川建設工業所  
代表取締役 脇川 勇生

◆**議案第8号**  
風待ち館設置条例の一部を改正する条例  
指定管理委託するに当たり、開館時間及び休館日を改正する。（令和3年7月1日から施行）

◆**議案第10号**  
工事の請負契約の件  
工事名 町教第1号  
深浦小学校大規模改修工事  
請負代金  
2億6950万円  
契約の相手方  
深浦町大字岩崎字松原193番地2  
株式会社 ホリエイ  
代表取締役 堀内 精二

◆**議案第9号**  
公の施設の指定管理者の指定について  
（風待ち館）  
①指定管理者となる団体の名称  
宗教法人 円覚寺  
②指定管理者が管理する期間  
令和3年7月1日から令和6年3月31日まで

◆**議案第10号**  
工事の請負契約の件  
工事名 町教第1号  
深浦小学校大規模改修工事  
請負代金  
2億6950万円  
契約の相手方  
深浦町大字岩崎字松原193番地2  
株式会社 ホリエイ  
代表取締役 堀内 精二



発議第2号 議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例(案)

賛成 反対

**岩谷 司**

過去、自治法に関係なく、地域の情勢に合わせて議員定数の削減をしてきた。4年間で人口が920人減っており、今後2年で約500人は減ると思われる。それに加えて地方交付税も削減される。全体に影響が出る。やはり人口動態に即して議員削減をすべきである。

**今 勝吉**

議員定数削減は、町民の誰もが思っている。しかし、議会は町民の年齢層、性別、職業、各地域から万遍なく選出され構成されることが望ましく、単に人口規模や経費削減のみで論ずるべきではない。むしろ、議員の質をいかに高め、新型コロナウイルス感染拡大による経済問題、人口減少、少子高齢化、社会保障等の難題解決に全力を注ぐべきである。

**斉藤 登**

この議員定数削減は、およそ3年半前から話があった。これは亡くなった菊池議員と1人減がいいのか、2人減がいいのかという話になったが、結局選挙まで後1年ということで、この間でやるのは早い、次の選挙が終わった時にやるべきだと、その時は結論が出た。それで前回、定員12人で選挙行った。今、定数減を出すのは、今年過ぎると次の選挙までもう1年ちょっとで、また前回みたいに1年間では時間にゆとりがないと思われる。また、藤田議員が言ったように、新人が出てこないという話もあるが、今1年半以上あるこの時期に定員を1人減らすべきで、それを明確にすることで、意欲ある新人が出てくると思う。また、そう願っている。

**藤田 一則**

人口減少による議員定数の削減は、分からないわけでもない。しかしながら、今、時代の大変な変革期で難題が山積している。そのことを議員も憂慮しながら質の高い議論をすることが求められている。また、町民は議会がどうやって運営しているか、分からない。議員に対する質の問題が言われているので、定数削減よりも次の議会を担う若い人の議員になってもらえるような環境づくりを考えなければいけない。削減すれば、新人が出てくる可能性が非常に低くなる。特に経済が苦しい状況でありながら、議員報酬だけでは生活できない。我々は、これからは健全な議会であるために、やる気のある質の高い新人議員を育てることが必要と思うので、今の削減には、時期尚早、一旦もう1回立ち止まって、みんなで熟慮するべきである。

**工藤 博利**

このたびの提出の案件は、我々深和会平成30年からの腹案でした。本来の町村の議員の定数は、人口1,000人当たり1人と言われており、それに鑑みれば深浦町は6人から7人ということになるが、当町は地理的には特異な町なので、それに倣わなくてもいい。また、当町の人口減少が著しい。また、町民からも、少なくてもいいという意見をよく聞く。それらを鑑みても、決して時期尚早ではない。1人減の11人でも議会の質は低下することはないと思う。

**堀内 榮治**

定数削減、人口減少が理由みたいだが、我々に課せられた責任は、土地、海、山、多面にわたる。ただ単に人口が減っているからということで定数削減はいかがなものか。それと、我々も歳を取る、なかなか機動力が発揮できないような状況になっている。それをまた少ない人数でカバーする、この深浦の山、田、川、道路、漁業、やっぱり議員は1人でも多い方がいいと思う。

**採決は、賛成少数(賛成5人、反対6人)で否決**  
 ※採決の詳細は、6ページの「第113回定例会採決状況一覧」をご覧ください。

発議

◆発議第1号  
 議会常任委員会の所管事務に関する調査の件  
 提出者 大高 恒藏  
 賛成者 岩谷 司  
 工藤 博利

【調査の方法】  
 ①各常任委員会及び連合による所管の事務調査を行う。  
 ②この調査は、本会議の閉会中も継続して行う。

◆発議第2号  
 議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例  
 少子化並びに国勢調査に伴う町民の人口減少に伴い、議員の定数の削減を行うため、所要の改正をする。

【改正内容】  
 議員の定数を「12人」から「11人」に変更



▲発議第2号の採決は賛成少数(賛成5人、反対6人)で否決

陳情	提出者	主旨
陳情第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	青森県医療労働組合連合会 執行委員長 秋元 春美	1 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。 2 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。 3 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。 4 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。 5 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

陳情

◆第113回定例会採決状況一覧 ※○賛成 ×反対 議長(小野文之)は採決に加わらない。

議案等	大川清光	岩谷司	岩根環	今勝吉	斉藤登	大高恒藏	小野信吾	堀内榮治	藤田一則	工藤博利	亀川肇	小野文之	議決結果(賛成:反対)
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案第3号~第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案第7号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可決(10:1)
議案第8号~第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
諮問第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
報告第1号~第4号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
発議第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
発議第2号	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	-	否決(5:6)
陳情第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	委員会付託(11:0)

町政をたただす



今勝吉 議員

問 新型コロナワクチン接種と観光地の新型コロナ感染症対策について

答 8月下旬の完全終了を目指す。町内飲食店の感染防止対策強化の補助金を補正予算に計上した。

問 今議員
①当町でも新型コロナワクチン接種が、医療従事者等、高齢者、基礎疾患のある方等から順次開始されたが、その進捗状況について伺う。
②新型コロナウィルス感染拡大に歯止めがかからない状況の中、観光地（深浦町）において、感染症の防止を優先に考え、下水道（トイレ・洗面所・キッチン・排水溝・排水管等）の衛生面や三密の回避策で、安全・安心な旅行・観光に最適な地であることを伝え、信頼される認証の質を確保した観光地づくりが重要と考えるが、町の考えを伺う。

答 町長
①医師1人体制では1日150人、2人体制では1日300人の予約を受け付けてワクチン接種を行っているが、現在のところ、大きな混乱もなく順調に行われている。今後は、高齢者への2回目のワクチン接種が7月中旬に終了するので、12歳から64歳を対象とした接種券を6月中旬に配布する予定としており、8月下旬の完全終了を目指し、安全かつ円滑にワクチン接種を進めていく。
②昨年度、13か所の宿泊施設に感染防止対策補助金を交付し、それぞれの施設が必要とする感染防止対策を実施した。また先般、本県も県内飲食店に第三者認証制度を導入すると発表があり、町としても町内飲食店の感染防止対策を強化するため、今般の補正予算

に補助金を計上した。今後は、県や町商工会、関係事業者等との連携を図りながら、その対策に取り組んでいきたい。
なお、トイレ等の衛生面については、個人の飲食店や小規模の食品製造業などでも、\*HACCP（ハサップ）の考え方を取り入れた衛生管理の対応が求められるので、新型コロナウィルスの感染症対策と併せて、食品衛生に関する十分な留意するよう事業者に対して啓発していく。

答 町長
①医師1人体制では1日150人、2人体制では1日300人の予約を受け付けてワクチン接種を行っているが、現在のところ、大きな混乱もなく順調に行われている。今後は、高齢者への2回目のワクチン接種が7月中旬に終了するので、12歳から64歳を対象



▲新型コロナウイルスワクチン接種

\*HACCP（ハサップ）=食品の製造過程で発生する危険性を分析し、厳格に管理・記録を行うシステム。

第113回定例会(6月議会)



一般質問

第113回定例会では、6月7日に一般質問が行われ、4人の議員が町政全般について質問しました。掲載は質問順で、質問と答弁は、議会広報編集委員会が要約しています。

- 1 今勝吉 議員 (9ページ)
①新型コロナワクチン接種と観光地の新型コロナ感染症対策について
②6次産業化について
③地産地消について
④「青森県保健医療計画」について
⑤農林水産課の土壌分析室について
2 大高 恒藏 議員 (12ページ)
①消防団員の処遇改善について
②青森県沖日本海（南側）に整備する洋上風力発電事業の対応について
③教員の働き方改革について
④災害時避難計画の見直しについて
⑤認知症サポーターの現状について
⑥日本遺産、北前船の港町魅力発信プロジェクト事業の実施について
⑦災害廃棄物の処理について
3 岩谷 司 議員 (17ページ)
①「林道石動線」の延伸について
②広域学区統合にかかる検討協議会設置について
③高齢者等が利用しやすい役場庁舎について
④新型コロナウイルスワクチンの効率的な接種について
4 大川 清光 議員 (20ページ)
①避難場所について
②洋上風力発電招致について
③漁業者に対する支援策について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、執行機関に行財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

町政をたただす

# 町政をたずね

**問 今議員**  
 ①当町を含む西北五圏域では、「がんの早期発見・早期治療」「生活習慣病の発症予防と重症化予防」を重点課題と定め取組を推進しているが、計画期間は平成30年度から令和5年度までの6年間で、その目標達成に向け取り組んでいる当町の中間（3年間）状況について伺う。

②軽スポーツ（グラウンドゴルフ、ゲートボール）は、町民同士の交流や近隣市町村との地域間交流も盛んに行われ、高齢者の引きこもりや要介護状態に陥らない、病気を予防する活動である。当町では、週1回の生きがい活動で健康チェックなどにも取り組んでいる。国には、このような予防活動に対して一人当たりの交付金の配分があるようですが、2020年度の配分について伺う。

**答 町長**  
 ①当町の取組としては、「定期的ながん検診の受診勧奨」をはじめ、「肥満予防のための食事と運動の推奨」や「喫煙防止対策の推進」など7つの目標を掲げて取り組んでいる。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、事業実績は減少したが、今後は感染状況を注視しながら重点課題に取り組んでいきたい。

②国からの交付金で、保険者（都道府県・市町村）における疾病予防・健康づくり、医療費適正化の取組状況に応じて交付される「保険者努力支援制度」がある。これは、国が定める12項目の評価指標に基づき、獲得点数に応じて交付されるもので、令和2年度の当町の獲得点数は、995点満点中、536点（県内23位）で交付額は527万円でした。

また、令和2年度からは、保険者努力支援制度の抜本的強化として、「予防・健康づくり支援交付金」が設置され、

**問 今議員**  
 当町岡町地区の大館畑作総合施設（通称・トマトハウス）で機能している農林水産課の土壌分析室担当者が異動になり、その後任はなかったようですが、今後の土壌分析室の活用方法はどのようなのか。また、さらなる農業振興発展をどのように考えているのか伺う。

**答 町長**  
 現在JA全農あおもりで、土壌分析センターを整備し数年前から土壌分析診断を行っている。このことから、町では担当

対象となる国保ヘルスアップ事業の一つとして「特定健診受診者のフォローアップ」と「糖尿病重症化予防における保健指導」を実施し、140万8千円の交付を受けている。

**農林水産課の土壌分析室について**

職員を配置せず、JA全農あもりの分析センターの利用を農家に進める方が良いのではとの考えから、JAつがるにきた深浦事業所と具体的な協議を進め、協議が整い次第、農家の皆様に対し、周知と説明を行いたいと考えている。

農業振興の発展については、夏秋トマト、雪にんじんを中心に安定生産を図りつつ、新たな高収益野菜を探りだし、農業経営の安定につなげたい。また、担い手農家への農地集積や、集落共同の取組による農地の多面的機能の維持など、国・県及び関係機関との連携を強化し、各種施策を講じていきたい。



※画像はイメージです。

# 町政をたずね

**6次産業化について**

**問 今議員**  
 町は独自に新しい生活様式に向けた6次産業を育成し、地域ビジネスの展開を図るべきと思つが、町の考えを伺う。

**答 町長**  
 当町が地域6次産業の取組拠点として整備した農水産物一次加工場（一般財団法人深浦町食産業振興公社）が、町内で生産されるふかうら雪人参などの農水産物を活用した加工品の製造販売を行っている。今後も、同社のみに限らず、町内の民間事業者も含め新たな生活様式のニーズに応えた事業展開が必要と考えられるので、町として可能な限り、適切な支援・協力を検討していきたい。



▲ふかうら雪人参でスムージーで健康的な1日を！

**問 今議員**  
 ①町は関連する事業、学校、福祉施設、観光施設等へ地場農水産物の利用促進を図るべきと思つが、町の考えを伺う。

②学校給食において地産地消の取組量が増加傾向にあり、今後更に増える中で、「ふかうら雪人参」の取扱いがないと聞いている。当町の学校給食の現状について伺う。

**地産地消について**

**答 町長**  
 ①町は関連する事業、学校、福祉施設、観光施設等へ地場農水産物の利用促進を図るべきと思つが、町の考えを伺う。

②学校給食において地産地消の取組量が増加傾向にあり、今後更に増える中で、「ふかうら雪人参」の取扱いがないと聞いている。当町の学校給食の現状について伺う。



▲（一財）深浦町食産業振興公社ホームページより

**問 今議員**  
 町内の既存の産直施設や小売業者が担えるようであれば、新たな販路の創出及び事業展開が期待でき、町として可能な支援を行っていききたい。

②地場産品の取扱いについては、ふかうら雪人参をそのままの状態では利用してはならないものの、雪人参のペーストを使った「ふかうらの夕陽カレー」や「雪人参のポタージュ」

**答 町長**  
 ①現在、町内で生産される農水産物を、町内の事業者や各種施設に直接的に卸す、販売するといったシステムは、生産者等が個別に産直施設等に販売するほかにはないような状況です。

町内の各事業者並びに施設が、地域農水産物を利用することは、大変望ましいことだが、生産者側と利用事業者側をうまくつなぐ仕組み、具体的には集荷して利用者に卸すといった仲介・卸売を担う業者がなければ、双方に負担が生じることが想定される。

その仲介・卸売の部分を、



▲給食を味わう深浦小学校の1年生



▲この日の給食に「雪にんじん蒸しパン」が付きまして！

を毎月提供しているほか、深浦牛ハンバーグ、深浦産トマトを年2回、深浦産サケの切り身などを年6回提供している。年々、児童生徒数が減少している中でも、地場産品を使った学校給食の提供に努めている。

# 町政をたず

**問 町長**

①日本における洋上風力発電による漁業への影響については、いまだよく分かっていない部分もある。漁獲量等の調査をしても、自然変動と人為的な要因による変動を識別するのは難しく、通常、建設後の環境の変化を時系列のデータによって、漁業への影響の有無や程度を判定するといった手法が提唱されている。

また、風車の騒音、水中の振動、景観への影響については、環境アセスメントの環境影響項目となっているので、事業者は、仮に事業実施における調査・予測・評価を受け、環境に何らかの影響が予測される場合は、それを回避又は軽減する措置あるいは代償措置を検討の上、環境保全措置を行うほか、予測の不確実性が大きい場合や効果に係る知見が不十分な環境保全措置を実施した場合には、事後調査を実施し、公表することになっている。

②青森県沖日本海（南側）の



※画像はイメージです。

**答 町長**

協議会には、当町から漁業関係者も出席し、漁業者の意向を尊重し、漁業や地域と共存共栄しながら事業を進めるよう意見があった。町としても、事業者による漁業影響調査の実施や環境アセスメントにより、何らかの影響があるような場合には、環境保全措置を求めるとともに、漁業振興に向けた財源や方策等、地域に恩恵のある仕組みの構築に向け、事業者の役割を明確にしていきたい。

**問 大高議員**

①小中学校の部活動の現状について何うか。

イ. スポーツ・文化活動で学校に残っている部活は各校でどの位あるか。

ロ. 今後、学校から地域に移行する部活の問題や課題の対応について

ハ. 地域に指導者がいない場合の対応について

②学校側が保護者から徴収するお金（給食費や部活動費）をそれぞれの学校で誰が管理しているのか。

③県教育委員会は地域と連携した防災教育のモデル事業を計画し、町では修道小学校がモデル事業校となった。どんな計画内容が示されるのか。また、先生方が出向くことになるので働き方改革に逆行するのではないのか。

**答 町長**

①小学校では、既に※スポーツ少年団活動へ移行し、地域の方がボランティアで指導をしており、学校での部活動はない。

中学校では、深浦中学校に運動部が4つ、文化部が1つ、大戸瀬中学校には運動部が4つ、岩崎中学校には運動部が3つあり、各学校ともに教職員が顧問となって部活動を行っている。これらの部活動を地域に移行するとした場合、組織体制の整備や費用負担の在り方、指導者の確保などが問題となる。

部活動の地域移行は、教職員の働き方改革推進のための大きな課題ですので、近隣の市町村の動向を踏まえながら検討していきたい。

②給食費については、各学校の事務職員が管理している。

また、部活動費については、各中学校ともに徴収していない。

③会議等の開催については、青森市において連絡会議を年

※スポーツ少年団=子供たちが自主的にメンバーとして参加し、「自由時間に、地域社会で、スポーツを中心としたグループ活動を行う団体」で、スポーツ少年団を運営するには、養成講習を終了した20歳以上の指導者2人以上の登録が必要とされている。また、その指導者のほとんどが地域の方々のボランティアによって成り立っている。

# 町政をたず

## 問 消防団員の処遇改善について

**答 町長**

団員数の減少は深刻な問題。今後の在り方について更に協議を続けたい。



おおたか つねぞう  
**大高 恒藏** 議員

**問 大高議員**

人口が減少し、地域に対する愛着もなくなったり、仕事との両立が難しいこともあるだろう。また、報酬や出勤手当などが低く、更に高齢化もどんどん進んでいる状況だが、どんな対策を考えているのか。

**答 町長**

①消防団員の処遇改善については優先事項として認識している。

今後、消防団の本部会議等で協議がされ、具体的な案として要望があるものと



※総務省消防庁ホームページより  
(<http://www.fdma.go.jp/>)

考えているが、他町村との均衡にも配慮しながら、可能な限り要望にに応じていかなければと考えている。

②現在、町には24の分団があり、地域の状況に応じて、団員定数を10人、15人、20人と定めている。少人数の分団の統合等については、これまで度々本部会議等で検討されてきたが、各分団の団員それぞれへの思いもあり、実現に向けた協議がなかなか進んでいない。団員数の減少は深刻な問題であることに変わりはないが、今後の消防団組織の在り方について、更に協議を続けていきたい。

**問 大高議員**

令和2年7月に「有望な区域」が発表され、現在、5社が事業計画を進めているようだ。また「促進区域」の指定に向け、意見を交わす協議会の初会合が、令和2年12月25日に開かれ深浦町も参加している。洋上風力発電が整備された場合、我が町にも次の影響が考えられるが、町の考えを伺う。

①町民に与える風力音や水中の振動音による魚貝類への影響並びに観光地としての景観に与える影響はどうか。

②町の漁業者の反応はどうか。また、現在、調査段階と思うが、影響がある場合、町としてどのような対応を考えているのか。

**青森県沖日本海（南側）に整備する洋上風力発電事業の対応について**

# 町政をたず



▲認知症サポーター養成講座を議員が受講 (令和元年12月6日)



**問 大高議員**  
地域に見守り隊の組織を立ち上げ、同時に高齢者や障害者、介護が必要になった人をサポートする組織作りも進め、ごみ捨て等の処置がスムーズに行えるようにすべきだと思いが、町の考えを伺う。

## 認知症サポーターの現状について

**答 町長**  
町では、認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりのため「認知症サポーター」を養成している。今まで延べ847人が認知症サポーターになっている。また、認知症に限らず、高齢者の異変に付き必要な支援につなげるための「地域見守り隊員」や、生活支援が必要な高齢者として登録さ

れた方のゴミ出しや除雪等を行う「生活お助け隊員」など、認知症サポーター以外にも町には様々な心強い「応援者」がいる。今後も養成講座や広報により「応援者」を増やし、地域で支え合う町づくりを目指していく。

## 日本遺産、北前船の港町魅力発信プロジェクト事業の実施について

**問 大高議員**  
①今年の7月から秋頃にかけて、深浦町、鰯ヶ沢町、野辺地町の3町で実施したいとしているが、「コロナ禍の中で事業を進めるのか伺う。」  
②\*アーティスト・イン・レジデンス(AIR)の制度を利用して、小説家2〜3人を深浦へ迎え、ウエスバ椿山かアオーネに10日間泊り泊りしてもらい、北前船を絡めた小説を作ってもらおう計画はどうだろうか。題材は安部安東でもいいのでは。そして、映画を作ってもらおうなどいかがなものか考えを伺う。

※アーティスト・イン・レジデンス=アーティストが一定期間ある土地に滞在し、常時とは異なる文化環境で作品制作やリサーチ活動を行うこと。

# 町政をたず



ウェストウェーブ深浦サッカースポーツ少年団



深浦ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団



修道卓球クラブスポーツ少年団



深浦シャークマリンスポーツ少年団



白神Jr.スポーツ少年団

▲各スポーツ少年団の活動の様子

## お詫び

深浦卓球倶楽部スポーツ少年団の活動の様子については、広報編集時に活動拠点である町民体育館が新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場だったことから、練習を休止して取材ができませんでしたので、お詫び申し上げます。

## 災害時避難計画の見直しについて

3回開催、宮城県への先進地視察を令和3年7月下旬に2日間の日程で予定しており、いずれも1人の方が出席することになっている。  
本校児童の安全確保や本県防災教育の充実に貢献する業務であり、働き方改革に逆行するものとは考えてない。

「個別避難行動計画」を作成し、定期的に見直しをしている。

この中で避難支援者は、本人の意思を尊重しながら、できるだけ身近な人から複数選定することとしており、これが困難な場合は、様々な機関と連携を図ることとしている。  
なお、個別避難行動計画を見直す際は、関係機関と自主防災組織(自治会、町内会等)と協議しながら作業を進めていく。

**問 大高議員**  
①自力避難が困難な高齢者や障害者を誰が支援するのか。町が地区住民と話し合って決めるようにできないものか。  
②避難時に持ち運ぶ非常袋を確認する方法を考えられないものか。(特に一人暮らしや認知症気味の人、高齢者や障害者等)

②町では、非常袋の支給等は行っていない。ただし、着の身着のまま避難した被災者を想定して、災害備蓄品を蓄え対応してきた。一人暮らしや認知症の方、高齢者や障害者等の方々の非常袋については、それぞれ必要な物が異なることから、個々に準備し、日頃から有事に備えていただくようお願いしたい。

**答 町長**  
①自力避難が困難な方々に対しては、自主防災組織(自治会、町内会等)の協力により

# 町政をたぐす



いわや つかさ  
**岩谷 司** 議員

## 問 「林道石動線」の延伸について

**答** 早くても8年から9年後になると予測。「林道石動線」事業採択に向けて努力していく。

**答** 町長

令和元年6月の定例会で岩谷議員から質問がありまして、早速、技術的に延伸が可能なのか、総事業費や財政負担など検討したところ、現時点での概算で事業費が3億円を超え、仮に事業を実施するとなれば、県代行事業か、あるいは町が事業主体になると思う。そこで県に確認したところ、現在進行中の「林道黒崎大間越線開設事業」が完了した後でなければ、県代行での事業採択はできないとの回答から、

**問** 岩谷議員  
岩坂地区の石動線延伸は、県道191号(通称)「柳田石動種里線」の緊急時回路として、とても重要な路線である。なるだけ早く「県の新年度予算編成前」に4から5年の継続事業として計上していただくよう要望できないか。令和4年度には、調査費だけでも構わないと考えるが、町はどのように考えているのか伺う。

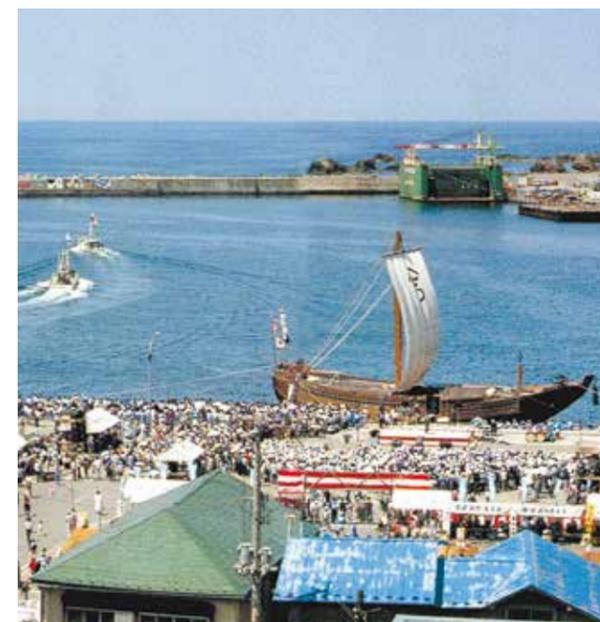


▲林道石動線



石動線」事業採択に向けて努力します。

# 町政をたぐす



▲復元された北前船「辰悦丸」が、“今、百年の時空を超えて北前船は帆走る”で深浦港へ寄港。「津軽深浦北前船まつり」を開催し歓迎した(昭和61年6月11日から13日)

**答** 町長  
①この事業は、県内で日本遺産に認定された3町の認知度の向上を目的としたもので、当町は、9月中旬から下旬頃にまち歩きを実施し、併せて資料館又は風待ち館で、パネル展を開催する予定となっている。現時点では、十分な感染防止対策を行いながら実施する予定だが、今後の県内の新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる可能性もある。

②短期間の滞在で、北前船や安倍安東を題材とした小説や映画を作ってもらうことは、\*アーティスト・イン・レジデンスの趣旨とは少しかけ離れているのではないかと考える。また、既に著名な作家による北前船や安倍安東を題材とした小説が出版されているので、新たにそれらを題材としても、十分なPR効果は得られないものと考えている。

## 災害廃棄物の処理について

**問** 大高議員

地震、津波、河川の氾濫、がけ崩れ、火災等により廃棄物が発生した時は、直ちに処理する計画を策定すべきと思うが、町の考えを伺う。

**答** 町長

災害廃棄物の処理については、西海岸衛生処理組合及び産業廃棄物処理事業者と連携して処理することとしている。また、災害時における建築物等の解体撤去に関して、「一般社団法人青森県解体工事業協会津軽支部」と協定を締結しており、災害時には、廃棄物の処理に速やかに対応することとしている。災害廃棄物処理計画の策定については、今後検討していきたい。



▲平成26年8月6日に発生した大雨による家屋浸水被害で出た災害廃棄物(北金ヶ沢榊原地区)▲

# 町政をたぐす



▲役場中央階段

**問 町長**  
住民の皆さんが役場をより気軽に利用しやすいように、利用頻度の多い窓口を1階に配置し、総合窓口を本庁舎1階中央部の町民課に設け、様々な手続がワンストップでできるような態勢をつくってきたい。

**答 町長**  
担当窓口が2階以上にある場合でも、特に、高齢者や足の不自由な方々に対しては、担当者が利用者のいる1階に降りて手続を行うような対応を、これまで以上に徹底していきたい。

**問 岩谷議員**  
河野新型コロナウィルスワクチン接種担当大臣が「ワクチンの接種方法は、各地方自治体に委ねる。」と発言していたが、現状をみると「あくまでもマニュアル通りの高齢者が最優先」で、キャンセルがあつて残った分のワクチンを廃棄したという自治体があつたことが報道されていた。そこで、当町のワクチン接種状況と、今後の接種計画を伺う。  
また、ワクチン接種の予約をした方がキャンセルした場合の町の対応も示していただきたい。

**答 町長**  
ワクチン接種の状況と今後の接種計画については、先ほど今議員の質問にお答えしたとおりです。また、ワクチン接種の予約をした方がキャンセルした場合の対応については、別な日を予約している方に声をかけて、当日の連絡でも接種可能な方を確保するなど、ワクチンが無駄にならないよう工夫し対応している。  
更に、予約した接種日を忘れないように再通知をするなどし、ワクチン接種が円滑に行われるよう努めています。



# 町政をたぐす

## 広域学区統合にかける検討協議会設置について

**問 岩谷議員**  
今後の少子化を考えたとき、地区の子供たちや保護者がこの学校に通学するか選択できるような、学区統合に向けた協議会の設置が必要と思つた。鯉ヶ沢町と深浦町で「広域学区統合協議会」の設置を立ち上げることは考えられないか。鯉ヶ沢町へ通学する児童・生徒が通学バスで行けるよう、未来に向けてぜひ検討していただきたいと思つたが、町の考えを伺う。

**答 町長**  
他市町村と通学区域を統合し広域化する場合、関係市町村が組合立学校を設置する方法と他市町村に教育事務を委託する方法の2つがある。今後、大戸瀬中学校の統合について検討をする際は、保護者や地域の声を集約した上で、



▲大戸瀬中学校

深浦中学校との統合のほか、鯉ヶ沢町との組合立学校の設置や鯉ヶ沢町への教育事務委託も選択肢に入れながら協議することになると思つたが、その際には、御提案の「広域学区統合協議会」等の設置も含めて検討していきたい。



▲鯉ヶ沢中学校



▲深浦中学校

**問 岩谷議員**  
役場内には、エレベーターもなく高齢者や車いす利用者等が、2階に用事があつても行けない。  
総合窓口を設置しているものの、来庁した方々の充足度は必ずしも満たされているとは言えない。  
そこで、階段の昇り降りできづらい高齢者や車いす利用者等が楽に2階に行けるよう「中央階段に昇降用リフト」を設置できないものか。住民に寄り添った地域行政の推進を求めるが、町の考えを伺う。



## 高齢者等が利用しやすい役場庁舎について

# 町政をたず

**問 町長**  
現在、協議が進められている青森県沖日本海（南側）の海域以外でも、技術的なものなどの課題が解消されれば、今後、深浦沖を対象とした浮体式の洋上風力発電の計画が進むものと考えている。  
また、脱炭素に向けた地球温暖化対策として、取組を進めるべき課題でもあり、洋上風力発電は地域や漁業振興の観点からも意義あるものと考えている。

**問 大川議員**  
昨年の12月25日に協議会が開催されて以来、町長による洋上風力発電についての発言がなくなったが改めて今、洋上風力発電についての考えを伺う。

## 洋上風力発電招致について

**答 町長**  
昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、深浦町独自の給付金の交付など、漁業経営に対する支援を行った。今後、水揚げ状況や新型コロナウイルス感染症の影響

**問 大川議員**  
近年、漁獲量の減少、漁獲高の低迷、それに追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの影響で魚価の低下が続いており、漁業経営は厳しい状況に直面している。また、漁網を含む漁具の修理、令和4年度には電波利用法の改正により無線機の取替等が余儀なくされることとなることから、今後、ますます経費増が見込まれている。以上のことから漁業者に対する支援策等を考えられないものか町長の考えを伺う。

## 漁業者に対する支援策について

を注視しながら、必要に応じて支援策等について検討していきたい。  
また、漁業者個人には、減収に対応した国の漁業共済制度の加入促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策としての農林漁業者を対象とした国の経営継続補助金などの活用を図るなど、漁協と連携した指導に努めていきたい。



▲北金ヶ沢の漁師 古川広志さんの動画配信YouTube「つがるの漁師チャンネル」より

# 町政をたず



おおかわ きよみつ 大川 清光 議員

## 問 避難場所について

**答** 廃止も想定している。他の避難場所も順次点検し、一時避難場所等の設置も検討していきたい。

**問 町長**  
①県が整備して町が維持管理している北金ヶ沢防災広場は、国道からも遠く、避難道が狭いうえに傾斜がきついため、もともと避難場所として適しているとは言えない。また、避難所に指定している大戸瀬中学校が近くにあることや、大イチョウの駐車場広場が整備されたことから、県との協議の結果次第では、この避難場所を廃止することも想定している。  
②「その他の避難場所」についても順次点検したい。  
③町内には、津波や土砂災害

**問 大川議員**  
①北金ヶ沢防災広場への避難道が分からない状態であるとともに、防護柵も壊れている。早急に改善をすべきではないか。  
②その他の避難場所についても、再点検が必要ではないか。  
③町民の高齢化が進んでおり、避難場所を増やすべきではないか。



▲国道からの入口



▲途中の案内板



▲北金ヶ沢防災広場

等に有効な場所として、41カ所の避難所と65カ所の避難場所を指定している。今後は、避難場所の周知に努めることにも、指定避難場所とは別に高齢者等が一時的に避難する「一時避難場所」等の設置を検討していきたい。

# 議会活動

## 議会運営委員会

令和3年6月1日(火)

### 協議事項

- 1 深浦町議会113回定例会の日程について
- 2 議会常任委員会委員の選任及び委員長、副委員長の互選
- 3 陳情について
- 4 発議について
- 5 その他

## 広報編集委員会

令和3年6月28日(月)

- ・ 広報第66号の編集について
- 令和3年7月30日(金)
- ・ 広報第66号の編集について



▲広報編集委員会



## 全員協議会

令和3年5月31日(月)

### 案件

- 1 榑ふかうら開発の令和2年度決算見込みについて
- 2 西海岸衛生処理組合施設(焼却施設)整備方針について
- 3 深浦町風待ち館の指定管理について



▲全員協議会

## 広報編集委員会

委員長 齊藤 登      副委員長 亀川 肇  
 委員 今 勝吉      岩根 環  
          岩谷 司

(発行者) 議 長 小野文之

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号 (代) 74-2111(内202)  
 (直) 74-4418